



### 単元（題材）目標

- 地域に住む特別支援学校の生徒との交流を通し、同じ社会に生きる人として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていく態度を養う。

### （1）実施時期

令和2年12月8日（火）

### （2）対象（学年等・人数）

第1学年・48名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

小田原養護学校教諭：1名

本校教諭6名（第1学年所属4名・特別支援学級所属2名）



### （4）実施内容

- ①手話によるあいさつ ※第1学年全体と交流
  - ・教諭や生徒が「おはよう」や「よろしくお願いします」、「ありがとう」などの手話を覚え、交流の生徒を出迎えた。
- ②自己紹介 ※第1学年全体と交流
  - ・本校生徒と交流の生徒が自己紹介をし、その際、一部に手話を用いた。
- ③学校探検 ※特別支援学級と交流
  - ・支援級生徒が案内役となり、車いすで校内を探検した。交流の生徒は、デジタルカメラを持ち、気になる所をカメラで撮影して記録に残した。
- ④体ほぐし ※特別支援学級と交流
  - ・体育館で「ポッチャ」と「パラバルーン」を使用した体ほぐしを行った。

### （5）成果

- 中学校入学後、初めての交流であったが、本校の生徒たちが温かく迎え入れようとする雰囲気があり、気持ちのよい互恵の交流ができた。
- 自己紹介が終わった後には交流の生徒と笑顔でハイタッチをしたり、手話を使って簡単な会話をしたり、身振り手振りで気持ちを伝えたりするなど、言葉を介してはいないが相手のことを考えた行動をすることができた。

### （6）その他

- 継続した交流を予定しているため、今後は交流生徒の実態に合わせた指文字や手話のバリエーションを増やしていくことを検討している。